

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月23日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 正卓
 (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,281	1.5	1,063	△21.6	1,107	△19.7	675	△20.9
26年3月期第3四半期	13,082	△3.2	1,355	△1.3	1,380	0.2	853	△0.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 670百万円 (△21.9%) 26年3月期第3四半期 858百万円 (△0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	42.75	—
26年3月期第3四半期	51.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	8,338	62.7	5,235	65.7	333.17			
26年3月期	8,487		5,589		335.75			

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,230百万円 26年3月期 5,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
27年3月期	—	15.00	—		
27年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	2.1	1,450	△11.1	1,450	△12.1	900	△12.7	57.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,700,000 株	26年3月期	16,600,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,791,326 株	26年3月期3Q	16,600,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.1「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益については、当社は当連結会計年度において新たに自己株式を取得したことから、当該取得を反映した予想期中平均株式数を用いて算定しております。なお、予想期中平均株式数は、通期15,768,807株であります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、景気回復の兆しがみられるものの、輸入物価の上昇を背景とした国内物価への上昇圧力や4月以降の消費税率の引き上げによる個人消費低迷の懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、特に、当上半期においては、消費税増税や建築費高騰等の影響により、パチンコホールのグランドオープン案件が減少し、また、当期間全体をとおして、個人消費の低迷や、参加ユーザー数の減少等に起因する、設置遊技機の稼働率低下が見られる等、盛り上がりには欠ける状況が続きました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため取引顧客数の更なる増加に向けて取組むとともに、前期末に連結子会社化した通販業界を主要顧客とする株式会社ユーアンドユー（以下、UU社）において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,281百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は1,063百万円（同△21.6%減）、経常利益は1,107百万円（同△19.7%減）、四半期純利益は675百万円（同△20.9%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第3四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、特に、上半期までにおいては、広告規制に伴う需要の低迷に加えて、例年期待されるゴールデンウィーク前のパチンコホールのグランドオープン件数が極端に減少した結果、新店告知需要が大幅に減少し、また消費税増税の影響の見極めのため、各ホール企業とも積極的な集客活動を手控えた影響等も重なり、全体としての広告需要は期初の予想以上に大幅に減少して推移いたしました。また例年12月において特需が期待されるグランドオープン案件については、件数はほぼ当初予想どおりで推移したものの、1件当たりのオープン関連広告予算は、案件の小型化の影響による減少が見受けられました。

こうした環境下において、当社は、取引顧客数の更なる増加に向けた広告提案活動を強化する一方で、デザイン業務の効率化によるコスト削減に向けて取組むとともに、特に12月のグランドオープン案件獲得の最大化に向けて、提案活動を強化してまいりました。またUU社において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてまいりました。

これらの結果、広告事業の売上高は、前期末に新期連結したUU社の売上高754百万円が寄与し、13,171百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが、主としてパチンコホール広告の売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は1,347百万円（同△16.6%減）となりました。

(不動産事業)

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社の㈱ランドサポート（以下、LS社）において、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、賃貸仲介案件（2百万円）を成約いたしました。

その結果、不動産事業の売上高は109百万円（前年同期比△27.5%減）、セグメント利益は45百万円（同△16.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期末における総資産は8,338百万円となり、前連結会計年度末比△149百万円の減少となりました。これは、主に売上債権559百万円の増加及び有価証券が100百万円増加した一方で、納税、配当および自己株式の取得により現金及び預金が△884百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は3,103百万円となり、前連結会計年度末比204百万円の増加となりました。これは、主として買掛金が332百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,235百万円となり、前連結会計年度末比△354百万円の減少となりました。これは、四半期純利益675百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式取得△551百万円および利益配当△467百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,804	2,919
受取手形及び売掛金	2,226	2,785
有価証券	—	100
繰延税金資産	29	16
その他	151	294
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,210	6,114
固定資産		
有形固定資産		
土地	767	767
その他(純額)	125	149
有形固定資産合計	893	916
無形固定資産	259	326
投資その他の資産	1,124	981
固定資産合計	2,277	2,223
資産合計	8,487	8,338
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,289	1,621
短期借入金	600	100
1年内返済予定の長期借入金	156	260
未払法人税等	318	124
その他	238	323
流動負債合計	2,601	2,430
固定負債		
長期借入金	270	655
資産除去債務	16	8
その他	10	10
固定負債合計	296	673
負債合計	2,898	3,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,752	3,408
株主資本合計	5,567	5,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	8
その他の包括利益累計額合計	5	8
少数株主持分	15	4
純資産合計	5,589	5,235
負債純資産合計	8,487	8,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,082	13,281
売上原価	9,988	10,271
売上総利益	3,094	3,009
販売費及び一般管理費	1,738	1,946
営業利益	1,355	1,063
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	0	0
為替差益	24	43
還付加算金	0	—
その他	3	4
営業外収益合計	30	53
営業外費用		
支払利息	5	6
その他	0	2
営業外費用合計	6	9
経常利益	1,380	1,107
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	22
事務所移転費用	—	14
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	1,381	1,071
法人税、住民税及び事業税	499	395
法人税等調整額	30	8
法人税等合計	529	403
少数株主損益調整前四半期純利益	851	667
少数株主損失(△)	△2	△7
四半期純利益	853	675

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	851	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	2
その他の包括利益合計	6	2
四半期包括利益	858	670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	860	677
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、平成26年7月18日開催の取締役会決議に基づき、平成26年8月29日付で、自己株式900,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ551百万円減少し、当第3四半期連結累計期間末において利益剰余金が3,408百万円、自己株式が-1百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,931	151	13,082	—	13,082
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,931	151	13,082	—	13,082
セグメント利益	1,615	53	1,669	△313	1,355

(注) 1. セグメント利益の調整額△313百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△313百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,171	109	13,281	—	13,281
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	13,171	111	13,283	△2	13,281
セグメント利益	1,347	45	1,392	△329	1,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△329百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△329百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	7,731	96.7
販促物	2,008	97.3
媒体	1,727	184.3
その他	1,704	88.2
広告事業計	13,171	101.9
不動産事業	109	72.5
合計	13,281	101.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。